

男女共同参画センター

生涯学習センター

DV総合対策センター

相談する

図書を借りる

視聴覚機材や
PCを借りるホールや研修室を
借りる

[トップページ](#) > [生涯学習センター](#) > [講座レポート](#) > [28年度](#) > [県民講師チャレンジ講座](#) > H28年度 県民講師チャレンジ講座 「モールス符号でコミュニケーション！ 老後の生活を明るく楽しくするヒント」を開催しました！

H28年度 県民講師チャレンジ講座 「モールス符号でコミュニケーション！ 老後の生活を明るく楽しくするヒント」を開催しました！

県民講師チャレンジ講座とは、県民の方が講師となって講座を開催するチャレンジ講座です。

講座名 「モールス符号でコミュニケーション！ 老後の生活を明るく楽しくするヒント」

講師名 野中 亮（アマチュア無線・通信歴50年）

日 時 平成29年2月17日（金） 10：30～11：30



講師の野中さんは、アマチュア無線通信士として長年、通信手段としてモールの符号を使われています。

今回は、電波を使わずに、身近な人とのコミュニケーションの方法の一つとして、モールの符号を知り、役立ててもらいたいという想いで講座を開催されました。



モールの符号は、短点「・」と長点「-」の組合せでできた「語」です。講座ではまず、モールの符号の成り立ちなど、符号そのものについて共通理解をしたあと、無線で受信した実際の音を聞きました。

野中さんは病床にある知人と接した際に、意思疎通の方法として符号の活用を思いつき、「・」と「-」を相手の腕に指で書くことで気持ちを伝えることができたそうです。このように直接相手に触れる方法や、音や光で符号を表現することで、障がいをもった方との会話や災害時などの連絡手段として活用できるのではないかと紹介されました。

「まずは自分に必要な符号から少しずつ覚えればいいのです。脳の活性化にもつながりますよ。困ったときに思い出して、少しでも役立ててもらえたら」と、気軽に生活に取り入れるヒントを教えてくださいました。



【参加者の感想より】

- ・初心者にも分かりやすく話してもらえてよかったです。もっと続きを聞きたいと思いました。
- ・道具を揃えてもらって、実際に体験できてよかったです。符号を無理に全部覚えなくてよいと言われて、少しほっとしました。
- ・災害時やインフラ等が断絶した時にものすごく役に立つことだと思います。老いの防止（認知症予防）のためにも使っていきたいです。
- ・「相手との約束を決めておくと通じる」というルールで、家でいろいろ挑戦したいです。

★今後の野中さんの活躍を応援しています！

[戻る](#)

[アバンセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

TEL : 0952-26-0011
FAX : 0952-25-5591

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんだんどの森内)

[交通アクセス](#)

[お問い合わせ](#)

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日（祝日も含む）
12月29日から翌年1月3日まで

[館内フロアマップ](#) >>

[施設利用の手続き](#) >>

[利用料金表](#) >>

[施設利用Q&A](#) >>

アバンセレストラン
「あいちゃん農園」
お問い合わせは
080-4312-4831